

冬号

第151号

財団法人 山梨県交通安全協会

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL(055)-237-7827
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23
(ホームページ http://www.yin.or.jp/user/ankyoku)

- | | | | | |
|----------|-----------|-------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 南アルプス交通安全協会 | 韭崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会 |
| 鰍沢交通安全協会 | 南部交通安全協会 | 市川交通安全協会 | 笛吹交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会 | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

自動車安全運転センター山梨県事務所
社団法人・山梨県バス協会
山梨県二輪車安全普及協会

社団法人・山梨県トラック協会
社団法人・山梨県自動車整備振興会
山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会
山梨県軽自動車協会
社団法人・山梨県建設業協会



高齢者交通安全モデル地区結成大会で正しい、安全な横断歩道の渡り方の指導を受けるお年寄り
—牧丘町中牧の多目的集合施設



やめようよ 自身のルールで 走るのは

年末の交通事故防止県民運動 12月1日から31日

交通安全カレンダー

- 12月1日～31日 年末の交通事故防止県民運動
- 平成17年
- 2月 交通安全推進県民大会
- 4月 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会
二輪車安全運転山梨県大会
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会

年末の交通事故防止県民運動が十一月一日から三十一日までの三十一日間実施されます。年末になると、飲酒の機会も多く、子どもたちは冬休みに入るため、車や人の混雑が予想されます。交通事故の多発が懸念されます。

運動の期間中、山梨県交通安全協会は県、県警、関係機関をはじめとして各種団体と協力して、地域に密着した街頭指導やPR活動を繰り返し、交通事故防止に取り組めます。

今回の交通スローガンは「やめようよ、自分のルールで、走るの」です。重点目標は①高齢者と子どもの交通事故防止②飲酒運転等・危険な運転の追放③運転中の携帯電話の使用禁止の徹底④シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底⑤早めのライトの徹底等です。交通ルールの改正もあり、一人ひとりがマナーを守り、交通事故防止に努めましょう。

内容紹介

- 2面 交通安全シルバーリーダー研修会
- 3面 中学生交通安全弁論大会
- 4、5面 各地区安協の活動
- 6面 各地区安協の活動
- 7面 路面標識材
- 8面 メール会員の募集

交 差 点

今年には自然災害が猛威をふるい、未曾有の大災害が日本列島を襲いました。さて、平成十年十月、道路交通法の一部改正され、違反者講習制度が生まれ満六年を迎えました。この講習は従来の講習と異なり、社会参加活動コースと実車指導コースがあり、自主選択をする講習です。思いやりや譲り合う心を醸成して、他人の立場に配慮した運転態度がとれることを実現することを講習の大きな狙いとしています。

▼山梨県の違反者講習の実施状況は年間約九百人の方々が受講しています。受講率は七対三の割合で社会参加活動コース希望者が圧倒的に多く、講習修了時全員に講習の調査文を書いていたのですが、この講習の感想をまとめた調査文により「極めて参考になった」「参考になった」と答えた人が九十九%を超えています。また、「社会参加活動を受講して、どんな事を感じましたか?」の設問に対し、「二十五歳男性は「あつという間にゴミ袋が一杯になった、しかも健康者の方々がゴミを捨て、障害のある人が拾う姿を見ると誠に情けなく思う」。二十七歳の男性は「車椅子を押して見て、道路の凸凹が多く、障害者には利用しにくい道路であることが分かった。また、安全運転は技術ではなく、思いやりの心から生まれるものだ」と初めて分かった。みなさん、肌で感じ、体験したことを調査文に表現しています。▼お互いにルールを守り、思いやりと優しさを心掛けてください。

高齢者自らが交通安全を推進

体験・実践研修に80人参加



実技研修「左折時の内輪差」

初のシルバーリーダー講習

県は、九月二十八日、南アルプス市の山梨自動車学校で、「交通安全シルバーリーダー講習会」を開催しました。この講習会は、高齢者に率先して交通安全運動に取り組むことを目的としたもので、本県では初めての試みです。甲府市など県内十二市町村から、地域活動に熱心な高齢者ら約八十人が参加しました。



班別研究をする参加者



午前中の体験研修では、自らの交通安全を推進する役割を担うことになり、交通安全の推進役となるシルバーリーダーを養成することを目指して、本県では初めての試みです。甲府市など県内十二市町村から、地域活動に熱心な高齢者ら約八十人が参加しました。午前中の体験研修では、自

午後は、夜間の反射材の効果と見えやすい色について学ぶとともに、日本交通安全教育普及協会の石毛昭治主幹から、高齢者の交通安全活動の重要性が、たいへん重要だと強調されました。今回、体験・実践型の本研修を受講されたみなさんが、日頃からの熱心な地域活動を基に、率先して地域の高齢者交通安全活動に取り組んでくださることを期待するとともに、来年度以降も多くの方々の参加をいただきながら、有意義な研修会を実施していきたいと考えています。



シートベルトの装着キャンペーン(六郷町)

警察庁と(社)日本自動車連盟(JAF)は、合同で、この十月に、全国の一般道七百八十箇所、高速道百九箇所において、シートベルト着用状況の一斉調査を実施しました。その結果、山梨県内における一般道の運転席の着用率は、全国平均と同率の九〇・一%を〇・六%上回りました。が、全国順位では四十七都道府県の中で、高齢者の交通安全を確保するためには、高齢者自身による高齢者のための交通安全活動が、たいへん重要だと強調されました。

後部座席の同乗者がシートベルトを着用していないと、本人の危険が大きくなるだけでなく、前の席の同乗者の被害を大きくするという統計結果も出ています。ドライバーの皆さんは、自らシートベルトを着用することと、もちろん、後部座席も含めて、車に乗った人全員にシートベルトの着用を促すようにしましょう。

シートベルト90.7%着用 全国一斉調査で山梨は25位 後部座席の着用が課題に

警察庁と(社)日本自動車連盟(JAF)は、合同で、この十月に、全国の一般道七百八十箇所、高速道百九箇所において、シートベルト着用状況の一斉調査を実施しました。その結果、山梨県内における一般道の運転席の着用率は、全国平均と同率の九〇・一%を〇・六%上回りました。が、全国順位では四十七都道府県の中で、高齢者の交通安全を確保するためには、高齢者自身による高齢者のための交通安全活動が、たいへん重要だと強調されました。

★各種の免許(大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。

★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人
山梨県交通安全協会経営
公認 山梨自動車学校
南アルプス市野牛島1828
(免許センター内)
TEL (055) 285-0752

交通安全は地域から

県警運転免許課長 戸島 公男



自動車は、便利で快適な乗り物であり、現在の流通経済の発達には欠かせない利器となつていまます。その反面、使い方を誤ると走る凶器になったりもします。走る凶器とならないように、また、その凶器による犠牲者がでないよう交通安全運動をはじめ交通安全対策が必要となるのです。

安全運動期間中に運転免許更新者四百人に対して、運動の認識度についてアンケート調査したことがあります。約五〇%のドライバーが運動の重点を知らず、三%のドライバーは安全運動が実施されていることすら知らないという結果で

者の交通事故が年々増加していき、高齢者は、加齢に伴う体力の低下、特に動体視力の低下や歩行速度の低下(七十五歳の平均歩行速度は秒速一歩)を認識すると、行動する共生の交通社会を創ることが必要です。

「割れ窓の理論」というのがあり、子どもに対しては、未来を託すります。この理論は、窓ガラスが割れた建物を放置しておく、管を指して、

交通安全は家庭から、地域から、と言われる所以はそこにある訳です。交通安全は家庭から、地域から、と言われる所以はそこにある訳です。交通安全は家庭から、地域から、と言われる所以はそこにある訳です。

理されていない建物として、いたずらや小さな犯罪を誘発。連鎖的に大きな犯罪が起るといいうものであります。交通安全対策についても同様に軽微なルール違反に対しても「指導しつけ」をしなければ法律の軽視に結びつき、交通秩序が乱れ、

府県のうち二十五番目と、前年の第二十二位からやや後退してしまいました。また、助手席は七一・〇%、(平成十五年)六三・七%、後部座席六・一%(平成十五年)七・一%)と、助手席の着用率はアップしましたが、後部座席は昨年を若干下回る結果となっております。

第46回山梨県中学生交通安全弁論大会

中学生の目線で 16人が熱弁振るう

第46回山梨県中学生交通安全弁論大会



第46回
山梨県中学生交通安全弁論大会
主催・山梨県警察本部 財団法人 山梨県交通安全協会

第四十六回山梨県中学生交通安全弁論大会が山梨県警察本部と山梨県交通安全協会の共催で十月八日、甲府市の二ツ機山で開催されました。大会には県内の十五警察署管内ごとに開かれた地区大会で優秀な成績を取った十五人と昨年優勝者の所属校から二人の計十六人の代表が出席、持ち時間五分で「論旨のわかりやすさ」「表現の適切さ」「発表の態度」を基準に審査した結果、「あなたが気付けば変わる未来」の演題で、若い叔父を交通事故で亡くした原因について弁論を行った増穂中学校三年深沢歩未さんが優勝しました。

出場者は、自らの体験などを通じて感じたことを述べ、とを中学生の目線から訴え、審査員をはじめ観衆に感動を与えました。

受賞者は次の通りです。

◇優勝▽山梨県知事賞 深沢歩未(増穂中三年)

◇準優勝▽山梨県議会議長賞 芦澤啓斗(上九一色中二年)▽山梨県教育委員長賞

依田史織(市川南中二年)▽山梨県警察本部長・山梨県交通安全協会会長賞 清水香織(韮崎東中二年)

◇優秀賞 香岡玄樹(甲府北東中二年) 大沼ももこ(山梨北中二年) 関本麻莉(桐原中二年) 佐野隆人(万沢中一年) 河西美波(一宮中二年) 溝辺章人(甲府市立南中一年) 佐藤里香(梁川中一年) 窪田誠明(甲西中二年) 古郡功騎(西桂中三年) 渡邊絵里(吉田中三年) 広川かすみ(塩山北中二年) 船村 溪(白州中三年)

敬称略



歩行者横断トレーナーの体験

山梨県知事賞

優勝弁論

深沢 歩未さん (増穂中3年)



「あなたが気付けば変わる未来」

「国道は危ないから、土手を通って帰ろう。そんな交通安全への配慮をしていた若者が、交通事故の犠牲となってしまうというこんなばかげたことがあってよいのでしょうか。十八歳という若さで亡くなった弟の母の話を聞いた。話したこともない彼を、私は「ひさし兄ちゃん」と呼び、ずっと家族のように身近に感じて生きてきました。

ひさし兄ちゃん、諏訪口駅からバイクで家に向かっていって対向してくる車とぶつかった衝撃で、土手の下まで飛ばされた。家族の祈り、お医者さんの寝ずの看病、そして、同じ高校の生徒や先生方の百人を超える尊い輸血と励ましのおかげで、半日もたないと言われながら、二週間も、生きることができました。

この事故の原因を聞いて、私はとても驚きました。相手の自動車は、眼科に行ったらすぐ後だったので、目がぼやけて焦点が合わず、とても危険な状態で運転を続けていたということです。そして本当に皮肉なことに、「国道より土手の方が安全だろう。」とお兄ちゃんと同じ道を選んだのです。

危険とわかっていながらなぜ運転をやめようとしなかったのでしょうか。目がぼやけた状態から、運転を続け、尊い命を奪ってしまったのです。

「危険を意識しながらも…」この言葉から私の頭の中には、さまざまなことが浮かんできます。私自身も、急いでいると歩行者用の信号が点滅して赤に変わってしまうときに渡ってしまうことがあります。二人乗りで道路をふらふらと走っている自転車を見ることが珍しくありません。また、運転中に携帯電話を使用している事故を起こした人の三分の一が、危険を意識しながら使用していたという話も聞きました。

生きて出会うことができなかつたひさし兄ちゃん。十八年という短い年月で、未来を奪われてしまいました。事故に合わなければ、きっと幸せな生活を送っていたことでしょう。私はひさし兄ちゃんの分まで、しっかりと生きていきたいです。

山梨県交通安全協会は十一月六、七の両日、甲府・小瀬スポーツ公園で開催された県民の日記念行事に今年も参加し、交通安全を肌で感じてもらうための参加・体験型のコーナーを開設しました。

幅広く交通安全体験

県交通安全協会

県民の日でコーナー設置

者が体験、実践するような形で交通安全活動を実施しました。多くの子供たちや高齢者が参加し、子供たちにはヨーヨー釣りを楽しんで貰うとともに、交通安全クイズ、交通安全絵本を配布しました。高齢者には反射材を配布しながら体験をして貰いました。



人気を集めたお母さんと子供の交通安全コーナー

安協から

平成十六年度富士吉田交通安全協会の総会において七代目会長に就任いたしました。

富士吉田交通安全協会は、昭和二十九年四月一日に創立し管内は、富士吉田市、富士河口湖町、山中

富士のふもとを安全な地域に

富士吉田交通安全協会会長 渡邊 日出男



今年度も引き続き

湖村、忍野村、鳴沢村、上九一色村の二市一町四村からなり会員数は四万二千人、役員数五百人で、十四支部から構成されております。

平成十六年度富士吉田交通安全協会の総会において七代目会長に就任いたしました。

また、日本三奇祭の一つであります富士吉田市の火祭り、富士河口湖町の河口湖湖上祭、さらに毎年一千万

の交通事故防止を最重要とした「高齢者交通安全」を積極的に推進し、高齢者宅の訪問等を通じて交通安全啓発活動、未就学児に対する交通安全教育、交通安全グッズの配布など交通事故防止のための諸対策を積極的に推進しております。

本年は、道路交通法の一部が改正され十一月から施行されています。運転中の携帯電話、駐車違反、暴走行為、飲酒運転を始めとした違反については罰則が強化されており、当協会におきましては、この改正の趣旨を十分理解して安全運転を呼びかけて行きたいと思っております。

反に挑戦するコンクールで、今年には二百二十チーム、千八百人が挑戦します。

実践的安全教室に高齢者50人が参加

参加・体験型の交通安全フェア

○上野原



人気を集めた白バイの展示コーナー

上野原交通安全協会(和田博夫会長)と上野原警察署、上野原町交通対策推進協議会は、管内交通安全関係団体の協賛のもと、九月二十三日、上野原町役場新庁舎駐車場で、「交通安全フェアINうえの」を開催しました。

「風林火山」が演じました。交通安全クイズと交通安全川柳大会や、子供の交通安全防止のため、警察犬の訓練・犯罪防止コーナー、似顔絵の作成会、白バイやパトカー、消防車の展示がありました。

富士吉田交通安全協会(渡辺日出男会長)は、富士吉田警察署、地元自治体、交通関係団体と共に九月二十一日、富士吉田市役所前交差点(市道)、河口湖漕艇所前(国道137号)、山中湖交番前(国道138号)、上九一色村赤池交差点(国道139号)で交通指導所を開設、通行車両のドライバーにチラシや啓蒙品(標語貼付しゃもじ)を配りながら交通安全を呼び掛けました。

特産の西島和紙でメッセージカード

今回は中富町が身延町、下

十月十日には、高齢者事故抑止モデル地域に指定されている増穂町長沢地区で、お年寄り五十人を対象に、参加・体験・実践型の交通安全教室(シルバーナイトスクール)を開催しました。



交通安全しゃもじの配布

また、各支部においては安全運動期間中、独自に街頭指導所を開設し、地域の交通指導を実施しました。安全運動のチラシと一体となっている改正道路交通法のあらまし(携帯電話等の使用に関する罰則の見直しなど)を二万八千枚作成し、新聞折り込みで各戸に配布しました。

南アルプス交通安全協会(功刀長夫会長)は、南アルプス警察署、南アルプス安全運転管理者協議会とともに九月二十一日、警察署駐車場において「無事故・無違反チャレンジ200日」の出発式を行いました。



高齢者の実践的交通教室

五十人の高齢者を対象に、最近の高齢者による交通事故の状況と注意点についての講話を聞いてもらった後、実際に車を運転してもらい、日頃の運転をチェックしました。それぞれ問題点について指導するとともに、自転車や歩行中の交通事故防止についても実践的な交通安全教室を行いました。



幼稚園児の交通安全呼び掛け

無事故・無違反200日に20チームチャレンジ

○南アルプス

交通安全運動

県内各安協の活動

実践的安全教室に高齢者50人が参加

「交通事故ゼロ」へ総決起

事故ゼロ目指して 総決起大会を開催

〇：申 府

甲府交通安全協会（保坂輝行会長）は、秋の全国交通安全運動初日の九月二十一日午前十時から甲府警察署正面駐車場で、交通事故「ゼロ」総決起大会を開催しました。大会には二百人を超える関係者が参加し、①安協各支部への「運転中の携帯電話使用禁止ステッカー」交付②山梨英和大学生一日女性警察官の委嘱③城北幼稚園児六十三名によるマーチングバンド④ヴァンフォーレ甲府選手による激励など行いました。



城北幼稚園児のマーチングバンド

全員で甲府市内の交通要所三カ所で、交通安全啓発物品を運転者に配布しながら、安全運転を呼び掛けました。

通行車両の運転者は、制服姿で安全運転を呼び掛ける一日女性警察官やヴァンフォーレ甲府の選手に交通安全啓発物品を手渡されて「ご苦労様です、頑張ってください」と激励の言葉を掛けていました。



伊勢小児童への交通指導

小学校専ら、差出人に届出し、伊勢小学校教員が交通安全本部員とともに、通学児童に対する道路横断指導と自動車運転者に対する呼び掛けをしています。



高齢者の運転体験教室

同月二十八日には、県警本部運転免許センターで、高齢者向け体験型交通安全教室を開き、白バイ、パトカーを展示、交通事故防止を呼び掛けました。

高齢運転者向けに 体験型交通安全教室

〇：藤 崎

藤崎交通安全協会（清水武則会長）は九月二十一日、国道141号線「ゆーぷるならさき」前で、藤崎警察署、峡北地域振興局、藤崎市役所、藤崎安全運転管理者協議会とともに交通街頭指導所を開きました。

十月二日には、藤崎市中央公園陸上競技場で開催された「藤崎市福祉の日記念祭り」に、藤崎警察署とともに「交通安全コーナー」を開設。白バイ、パトカーを展示、交通事故防止を呼び掛けました。

女性部手づくりの 啓発グッズを配布

〇：南 甲 府

南甲府交通安全協会（山下讓二会長）の伊勢支部（小松治支部長）は、子供を交通事故から守るため、スクールゾーン表示のロードポップ及び電柱用サインを購入しました。

支部役員が年間を通じて、平日の通学時間帯（午前七時五十分～八時二十分）に伊勢市街に「交通安全教室」を開設し、交通安全啓発品を配布しました。

「交通安全長寿十選」 パンフレットを製作

〇：長 坂

長坂交通安全協会（伊藤重忠会長）は、長坂警察署とともに、秋の交通安全運動期間中の九月二十八日、長坂町総合グラウンドのゲートボール場で、管内の高齢者による「高齢者交通安全指導員の委嘱式・高齢者交通安全ゲートボール大会」を開催しました。

十選」を作成しました。十選は「一、早寝早起きをする」「二、いつも笑顔でいる」「三、食べ物に好き嫌いが無い」「四、朝食を必ずとる」「五、近所付き合いは良い方である」「六、友達が多い方である」「七、地域の行事に積極的に参加している」「八、テレビ番組はニュース、スポーツ、歌が好きである」「九、ゲートボールをよくする」「十、交通安全にいつも心掛けています。」

高齢者の交通安全で 牧丘にモデル地区

〇：日 下 部

日下部交通安全協会（河野進会長）と日下部警察署、牧丘には、同町を「高齢者交通安全モデル地区」に指定したことにあわせ、秋の交通安全運動期間中の九月二十四日、同町西保下多目的ホールで「高齢者交通安全モデル地区結成大会」を開催しました。

同町内の高齢者七十人が参加し、日下部警察署員による交通安全講話の後、高齢者を代表して山下牧郎さんが交通安全宣言を行いました。町内は巨峰などブドウの観光地を学びました。

ゲートボール通じ 交通安全を訴える

〇：塩 山

塩山交通安全協会（内藤進会長）と塩山警察署は、秋の全国交通安全運動の一環として、東山梨地区ゲートボール協会の協力により「交通安全ゲートボール大会」を九月二十三日、塩山市藤木地内企業局スポーツ広場で、三十二チーム約三百人が参加し、盛大に開催しました。

競技に先立ち安協会長、塩山警察署長が、交通安全運動に対する挨拶と交通安全員による交通安全講話を実施。「高齢者のみなさんへ」のチラシを全を奮う声と、この種の大会を継続して開催して欲しいとの要望がありました。

300人が参加したゲートボール大会

配布し、道路を渡る時の注意事項について再確認してもらいました。引き続きゲートボール大会に移り、元気にプレーを繰り広げました。参加者全員に交通安全を明記した参加賞を贈ったところ、交通安全を誓う声と、この種の大会を継続して開催して欲しいとの要望がありました。



高齢者代表・山下牧郎さんの交通安全宣言

交通安全宣言を行いました。町内は巨峰などブドウの観光地を学びました。



300人が参加したゲートボール大会

配布し、道路を渡る時の注意事項について再確認してもらいました。引き続きゲートボール大会に移り、元気にプレーを繰り広げました。参加者全員に交通安全を明記した参加賞を贈ったところ、交通安全を誓う声と、この種の大会を継続して開催して欲しいとの要望がありました。



高齢者安全教室指導員の委嘱式

組はニュース、スポーツ、歌が好きである「二、ゲートボールをよくする」「三、交通安全にいつも心掛けています。」

引越のことなら
まずお電話を！

まかせて安心

ISO9001:2000 認証
松本引越センター 山梨営業所
TEL. 055-222-0222
0120-22-0222
中巨摩郡玉穂町西新屋330-7

交通安全運動 県内各安協の活動

子供のかわいい声で安全標語を呼び掛け

○：大月

大月交通安全協会(山下道男会長)は、大月警察署で、セーフティ・エンジェルの撮影を行いました。この企画は



セーフティ・エンジェルの収録

また、管内では大型トラックによる交通事故が多発していることから、笹子管内と梁川管内の国道20号線において、ミニ街頭指導所を開設し、大型車ハザードマップ、チラシ、啓発用品などをトラックのドライバーら

安全運動の一環として、子供たちのかわいい声で交通安全標語をテレビカメラに向かって呼び掛けてもらい、それを管内のCATVで放送し、交通安全の啓蒙を図っている。今回で四回目となっている。

県内初の青年部が発足 3世代安全教室も開催

○：市川

市川交通安全協会(八木吉治会長)は、九月十六日、市川交通安全協会の後継者の育成と活動の拡大のため、各支部から推薦された十代から三十代の大学生や主婦らで構成する青年部を発足させました。八木会長が全員に背中に市川交通安全協会青年部と印された緑色のジャンパーを贈った後、十六人を代表して、市川大門町の児玉秀志さんが「交通安全の思想の啓蒙、普及活動に積極的に取り組む」ことを宣言しました。



青年部へのジャンパー贈呈式

そのほか、市川警察署、管内自治体、交通関係団体と連携し、交通安全運動期間初日には、市川警察署管内交通安全運動出発式を行い、シニアカー・セーフティ・リーター委嘱式、市川タクシートの運転手による「夕暮れ時の早めのライト点灯・運転中の携帯電話使用禁止運動」推進宣言を行った後、市川大門町内で交通安全パレードを行い、地



交通安全祈願祭

式と交通安全祈願祭を開催しました。横断幕掲出除幕式は、十一月一日に施行される改正道路交通法により、運転中の携帯電話使用禁止の罰則が強化されることに伴い、「もしも

運動中の携帯電話禁止 横断幕でキャンペーン

○：南部

南部交通安全協会(依田倉蔵会長)は、秋の全国交通安全運動を目前に控えた九月十七日、南部町万栄橋北詰広場で、南部警察署、身延町、南部町、南部交通安全管理者協議会、南部交通安全母の会とともに、横断幕掲出開始除幕

女性部の役員30人が 飲酒運転の撲滅作戦

○：都留

都留交通安全協会(山口一郎会長)の女性部(小笠原久子部長)役員三十人は、九月二十五日午後二時から道志村地内「道志の湯」で、飲酒運転追放のパンフレットや手作

自転車に乗ったら運転者

交通ルールとマナーを守って安全に走ろう

○：大月

最近、自転車利用者の交通ルール無視やマナーの悪さに対する批判が高まっています。県内の九月末における自転車に関する事故をみますと、五百七十九件発生し、死者数二人、負傷者は五百八十九人となっております。自転車は、道路交通法上、車両(軽車両)として、道路の左側端を走ることにな

シグナル

また、自転車の二人乗りや携帯電話や傘をさしながらの運転は、罰則が規定されておりますし、死亡事故を起すこと刑事、民事の両面で責任を問われ、高額な賠償責任を負い込むこと果は別表の通りです。

受講対象者八百二十一人(八十一会場)に対し、「自転車は道路の右側、真ん中、左側のどこを走りますか」と質問をして挙手を求めました。「自転車は右側通行」と誤って回答した者

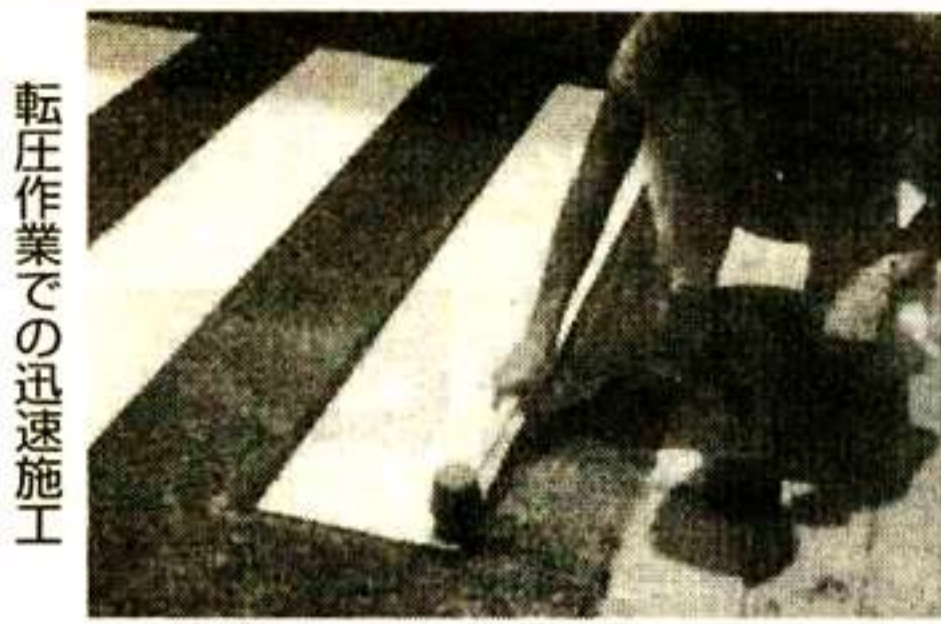
	園児 (幼稚(保育)園)	低学年児童 (小学1~2年生)	高学年児童 (小学3~6年生)	高齢者等 成人学級
対象者	6,886	849	158	228
誤回答	5,500	612	29	30
誤回答率	79.9%	72.1%	18.4%	13.2%



自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店
株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目16-1
富士急ビル6階
TEL055-228-0691



転圧作業での迅速施工

路上工事などにとれない、横断歩道、一時停止標示などの既存の道路標示を損傷させた場合は、標識令（道路標識、

貼付式の
路面表示材



貼付施工後（夜間も安心な視認性を確保）

区画線及び道路標示に関する命令）に定められた規格で修復しなければなりません。特に、横断歩道・自転車横

横断歩道の仮復旧に活用

迅速な施工が特長

断帯・停止線の修復はすみやかにかつ確実にいきます。交通事故発生時の要因ともなることがあります。

このため、東京都等をはじめ一部自治体では、仮復旧用として「貼付式路面表示材」

を活用しております。この表示材は、工事施工が簡単なうえ夜間も視認性が確保でき、さらに迅速な撤去で本復旧も容易なものです。横断歩道などの交通事故防止の上からもこうした資材の活用をお勧めいたします。

なお、仮路面貼付式表示材（白線）に関する照会は、(財)山梨県交通安全協会（TEL 0555・2377・7827）にお問い合わせください。

高い無事故率

早く優しい地元のための教習
山梨県公安委員会指定

岳麓自動車
教習所

富士吉田市新西原5-5-1

☎0555-22-1689

普一、大型一・二、大特
けん引、自二
(合宿施設有)



AMS (山梨県自動車整備振興会)

使用済み自動車のリサイクル促進及び不法投棄防止の観点から「自動車リサイクル法」が平成17年1月から本格施行されます。これに伴い、自動車整備事業者は、使用済み自動車のリサイクルルートへの入り口として重要な役割を担うこととなります。そこで、自動車所有者（ユーザー）の皆様には、この法律の概要についてご理解頂くため、Q&Aを掲載します。

- Q1: 自動車リサイクル法って何？
A: ゴみを減らし、資源を無駄にしないリサイクル型社会をつくるために、自動車メーカー・輸入業者、関連事業者、クルマの所有者、それぞれ役割を定め、クルマのリサイクルを適正に進める法律です。クルマの所有者の皆様には、リサイクル料金のお支払いをお願いします。
- ※原則としてすべての四輪自動車対象です。(トラック・バスなどの大型、商用車も含まれます)
- Q2: リサイクル料金はいくら？
A: クルマのメーカー、車種によって、1台ごとに異なります。シュレッダーダストの発生見込量やフロン類・エアバッグ類の装着状況などによって決まります。具体的な金額は、次のホームページなどでご確認ください。
(http://www.jaic.or.jp)
「シュレッダーダスト」クルマの解体・破砕後に残るプラスチックくずなど。
- Q3: 支払うリサイクル料金は？
A: クルマのリサイクルの障害になっていないシュレッダーダスト、フロン類、エアバッグ類のリサイクルと適正処理のために使われます。また料金の一部は、リサイクル料金の管理や廃車処理の情報管理にも使われます。
- Q4: リサイクル料金はいつ払うの？
A: リサイクル料金は来年(2005年)1月以降にお支払い負担が発生します。来年1月以降新車を購入する時は購入時にお支払いください。今お乗りのクルマは来年1月以降の最初の車検時まで、車検を受けずに廃車する場合は廃車時にお支払いをお願いします。
- Q5: クルマを廃車にする時は、自治体の登録を受けた引取業者に渡してください。この時に車検の期間が残っている場合は、申請により残期間に応じて自動車重量税が還付されます。
- Q6: クルマを廃車にする時に何か気をつけなければいけないことは？
A: クルマを廃車にする時は、自治体の登録を受けた引取業者に渡してください。この時に車検の期間が残っている場合は、申請により残期間に応じて自動車重量税が還付されます。
- Q7: 「フロン類」カーエアコンの冷媒。オゾン層破壊・地球温暖化の原因となるので適正処理が必要。「エアバッグ類」安全な処理には専門的な技術が必要。
Q8: 支払うリサイクル料金は？
A: クルマのリサイクルの障害になっていないシュレッダーダスト、フロン類、エアバッグ類のリサイクルと適正処理のために使われます。また料金の一部は、リサイクル料金の管理や廃車処理の情報管理にも使われます。
- Q9: クルマを売った後、リサイクル料金は？
A: 資金管理法人(財)自動車リサイクル促進センターへのリサイクル料金の支払いは、クルマ1台につき原則1回限りです。また、リサイクル料金が支払い済みのクルマを、廃車ではなく中古車として売った場合は、車両価値額に加えて、支払っていたリサイクル料金を中古車売買代金の中に含めて、次の所有者から受け取るようになります。
- Q10: クルマを廃車にする時に何か気をつけなければいけないことは？
A: クルマを廃車にする時は、自治体の登録を受けた引取業者に渡してください。この時に車検の期間が残っている場合は、申請により残期間に応じて自動車重量税が還付されます。

自動車安全運転センター

各証明書をご案内いたします

- ◇証明書の種類
- 無事故・無違反証明書…無事故・無違反で経過した期間について証明します。
 - 運転記録証明書…過去5年間・3年間・1年間の交通違反、交通事故、及び行政処分の記録について証明します。
 - 累積点数証明書…交通事故や違反の点数が、現在何点になっているかについて証明します。
 - 運転免許経歴証明書…過去に失効した免許、取り消された免許、又は現在受けている免許の種類、取得年月日について証明します。
- (注) 年数の古いものや取り消し・失効免許については、一部証明できないこともあります。

SDカードは、安全運転者(SafeDriver)のしるしです。無事故・無違反証明書又は、運転記録証明書の申請者で、事故・違反(1年以上の期間)等の記録のない方には、安全運転者であることを表すSDカードをお渡しいたします。

☆SDカードをお持ちの方に、ガソリン代・食事代・宿泊代などを割り引くお店が増えています。

ホームページ: <http://www.jsdc.or.jp>

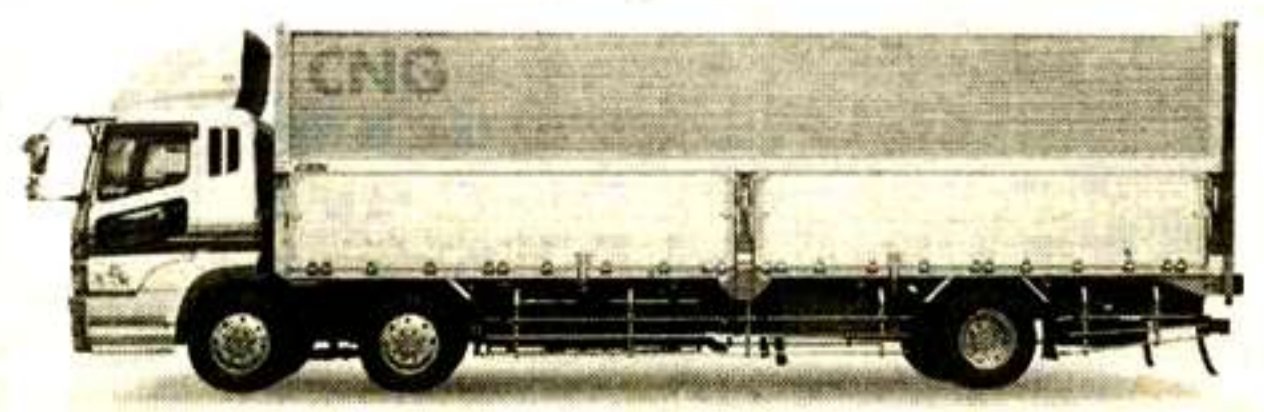
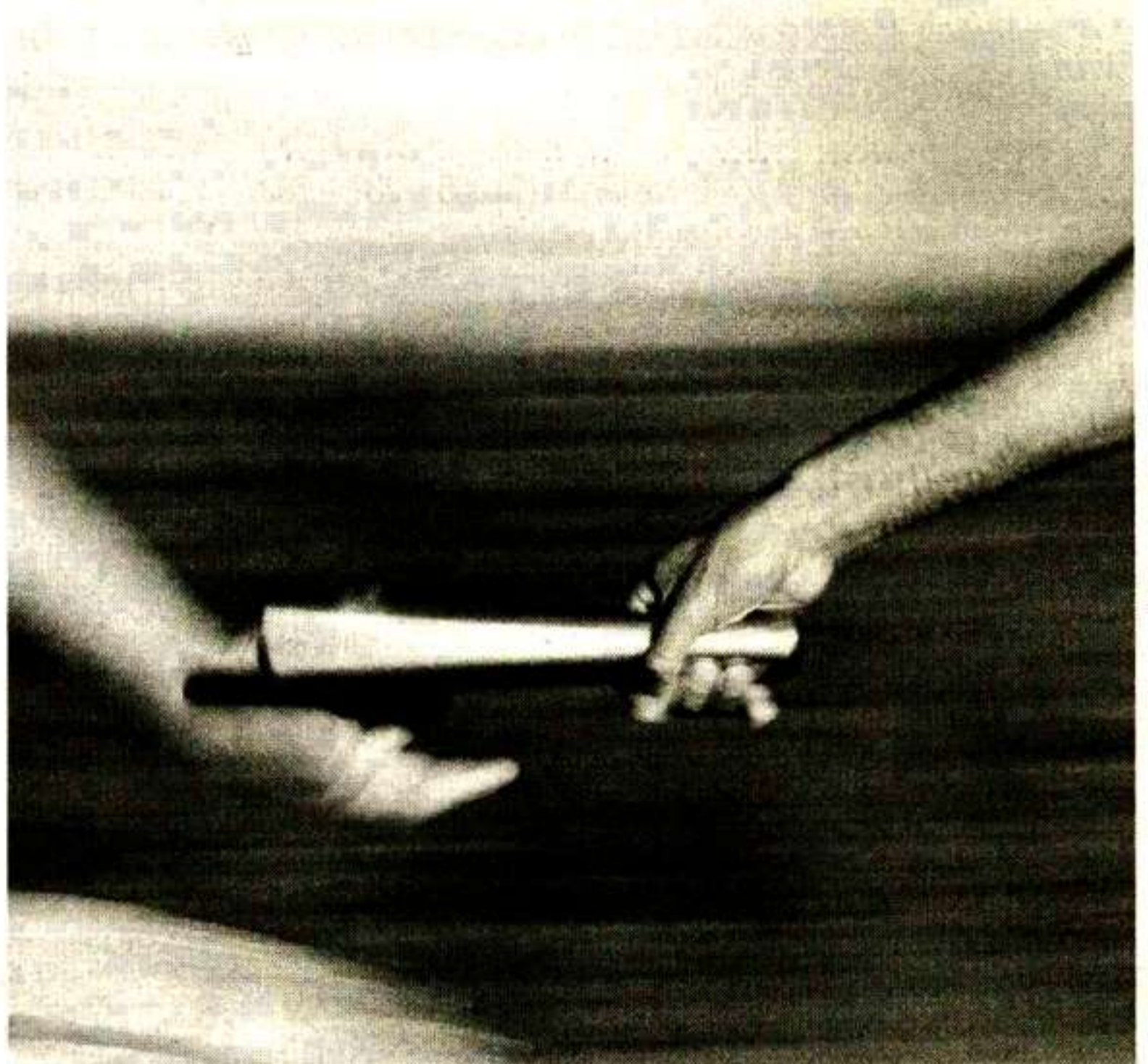
証明書の申し込み方法

- ★証明書のお申し込みは、センター事務所の窓口で受け付けています。手数料は1通につき700円です。
 - ★郵便振替による申請もできます。この場合は、振込手数料が必要です。
- 詳しい事は、自動車安全運転センター山梨県事務所にお問い合わせ下さい。

自動車安全運転センター山梨県事務所
〒400-0205 南アルプス市野牛島1828 TEL 055-285-2345

運びます 次の世代に環境を
人から人へ

物流が手渡していきます。暮らし、自然、熱い心。



(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)

携帯電話などからいろいろな交通情報の照会が可能

山梨県交通安全協会Eメールサービス

平成17年1月17日から募集

財団法人山梨県交通安全協会では、各地区交通安全協会会員に加入している皆様を対象に、新たにEメール会員を募集いたします。Eメール会員の特典は、次のとおりです。既に会員になられている方、また、これから会員になろうとする方の登録をお勧めいたします。
なお、各地区交通安全協会の会員の皆様は無料で会員登録を行うことができます。

～Eメール会員の特典～

「情報発信サービス」

ホットな情報をメールで提供いたします
○道路交通法の改正要点、施行期日、注意すべき点など(改正時期に応じて提供)
○安全運転に役立つ情報の提供(年4回の安全運動時の注意事項や公開交通取締情報の提供)

「相談・質問サービス」

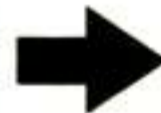
いろいろな質問にメールでお答えします
○交通事故相談(交通事故の損害賠償等の相談)
○運転免許の手続きなどについての照会
○交通渋滞情報についての照会(照会先の電話番号等のお知らせなど)
○交通事故や故障の時の連絡先の紹介
○反則金や行政処分の点数についての照会
○テレホンガイド(交通関係手続きや事故証明手続きの照会等)

「通知サービス」

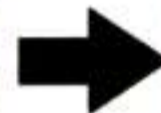
運転免許の更新の時期をメールでお知らせします
○うっかり失効を防止するため更新時期の1ヶ月前にメールでお知らせします。

～Eメール会員の登録方法～

会員証をご用意ください。登録の際に、会員証に記載されている情報が必要です。



当協会ホームページにアクセスしていただき、トップページにある「E-mail会員登録」アイコンをクリックしてください。



表示されたページ中央付近にある「E-mail会員登録」アイコンをクリックしてください。



登録申込フォームが表示されますので、必要な事項を入力して登録してください。

このサービスは、交通安全協会へ入会された方だけが利用できます。E-mail会員登録は、下記ホームページからどうぞ!

<http://www.yamanashi-ankyo.or.jp/>

当協会のホームページは平成17年1月17日から上記の通りとなります。

◎Eメール会員に加入しない場合でも会員の特典として次のサービスを実施しております

- 交通事故による損害賠償等についての弁護士による無料法律相談が受けられます。
会員が交通事故を発生させたか又は交通事故の被害者となった場合、損害賠償等で疑問があったときは、当協会の委託弁護士による無料の法律相談が受けられます。
なお、こうした制度について年間数十人の会員が利用しております。
詳しくは、山梨県交通安全協会(TEL055-237-7827)にお問い合わせください。
- 交通事故の見舞金が贈呈されます
会員が不幸にして交通事故で死亡した場合や後遺症が生じ場合は、最高10万円の見舞金を贈呈しております。
平成15年には、死亡見舞金17件、後遺症見舞金1件を贈呈しております。
- 運転免許証ケースの贈呈
運転免許証を財布などに入れておきますと紛失の際発見されないケースが多くあります。毎日の運転に必要な運転免許証を紛失しないため、また、誤って紛失した場合の発見を容易にするため、滑り止めのついたケースのご使用をお勧めいたします。

～あなたの会費が地域の交通安全に役立っています。～

山梨県交通安全協会では、運転免許の取得時や更新手続きの際に「交通安全協会費」として窓口でお預かりした会費は、会員の皆様の住所地の交通安全協会へ送付され、各地域における交通安全教育、交通安全のための各種広報、祭典・イベント等の際の交通整理などに使用させていただいております。交通安全パレードやカーブミラーの清掃など多彩な分野に広がっています。

なお、各地区交通安全協会の会費の使用実態については、各地区交通安全協会の総会において承認いただいているとともに、必要があれば、会員に加入した際自由に閲覧できます。詳しくは職員にお尋ねください。



カーブミラーの清掃(都留)



交通安全パレード(甲府)